



滝田としゆき たきたた敏幸県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

T260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

2月定例千葉県議会 予算委員会・自民党総括質疑 印西市・栄町特集

CTC千葉テレビ3 生中継!!

平成31年2月25日(月)11:10頃から(45分程度)

質疑のポイント

① 北千葉道路西区間、千葉NTから有料道路起点：小室までの整備について質します。

② 県道鎌ヶ谷本埜線の平成31年度開通後、若草大橋延伸線の早期事業化を求めます。



千葉県議会随一の保守派論客として活躍する滝田敏幸県議(3期)は2月25日の県議会予算委員会にて自民党総括質疑に臨みます。過去12年、現役最多31回の質問戦(一般質問27回・予算委質疑4回)の実績を基に、満を持しての登壇。国土強靱化政策と31年度千葉県予算における公共事業の基本的考え方、北千葉道路の東・西区間の現状と今年度の見通し、若草大橋延伸線の道路計画、AED普及と実施率向上、初の全国消防操法大会・千葉県開催ほか地元と全県の課題について執行部と一問一答の質疑を実施します。これまで、総務防災、総合企画水道、農林水産の常任委員長を歴任し存在感を示すとともに、滝田県議の県政における発言に益々注目が集まっています。

県議会随一の論客ウツク

たきたた敏幸・PROFILE

- 1960年 印西市大森生まれ 大森小、印西中 県立我孫子高校卒
- 1982年 同志社大学卒業
- 1999年 印西市議会議員(2期)
- 2007年 千葉県議会議員(3期) 印西市消防団副団長
- 2010年 総合企画水道常任委員長
- 2011年 千葉県ラグビー協会会長
- 2013年 総務防災常任委員長
- 2014年 北千葉道路推進議連幹事長
- 2015年 自民党AED普及PT座長
- 2016年 農林水産常任委員長

たきたた敏幸県政報告会

鈴木宗男・佐藤 優、来たる!

- 地方創生を語る -



今春実施予定!

日時、場所等詳細は近日、公式HPで告知します。

是非ご覧ください!

質疑項目

1. 公共事業予算編成における県の方針について
2. 北千葉道路 東・西区間の現状と今年度の見通し
3. 若草大橋延伸線の道路計画について
4. AED普及と実施率向上
5. 2020全国消防操法大会の準備状況

●県政と印西市・栄町に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

たきたた敏幸事務所

〒270-1326 印西市木下1521-125 2F TEL.0476(37)4173

傍聴申込・問合せ&チバテレ生放送の御案内

県議会予算委員会の傍聴を御案内申し上げます。県政をもっと身近に感じて頂けるよう御意見・御要望も併せて御待ち致します。詳細は滝田事務所・佐藤まで(月~金/10~17時)

北総鉄道・都心直結線特集

政治は交渉であり、運動とは別

平成22年の成田スカイアクセス開業時、森田健作知事とともに県と沿線6市2村と京成電鉄による値下げスキーム(年6億円)に尽力した滝田県議の更なる北総線値下げへ向けた挑戦は続きます。

平成27~31年県議会

めには、印西と白井が先頭に立って沿線6市の足を揃えさせることが大前提。よって、鉄道事業者と行政の対立を煽つても、高運賃と云う現実はおきません。そもそも、民間鉄道事業者の運賃を行政が力でねじ伏せ、値下げさせることは不可能。責任を持つた粘り強い経済交渉を行うのが政治の責務と滝田は考えます。

都心直結線 (H30) 国・県・東京都三者協議を要請

滝田議員 都心直結線の事業を進めるにあたり、関係自治体である東京都との協議を積極的に進めるべきと思うがどうか。総合企画部長 都心直結線の整備については、県としても国策で実現するよう要望しているところですが、都内を通る路線であることから、議員御指摘のとおり、東京都との協議は必要であると考えております。

滝田議員 都心直結線が実現すれば、都心から成田空港へのアクセスが改善され、東京都民にとっても利便性が向上する話なので、東京都の理解が得られるようあらゆる方面から努力することが必要だと思ふ。そして、最後は森田知事と都知事のトップ同士による政治判断になってくると思ふので、実現に向けた検討が進んだ暁には、ぜひ知事の御英断をお願いしたい。

東京都と協議を

要望 滝田議員 都心直結線が実現すれば、都心から成田空港へのアクセスが改善され、東京都民にとっても利便性が向上する話なので、東京都の理解が得られるようあらゆる方面から努力することが必要だと思ふ。

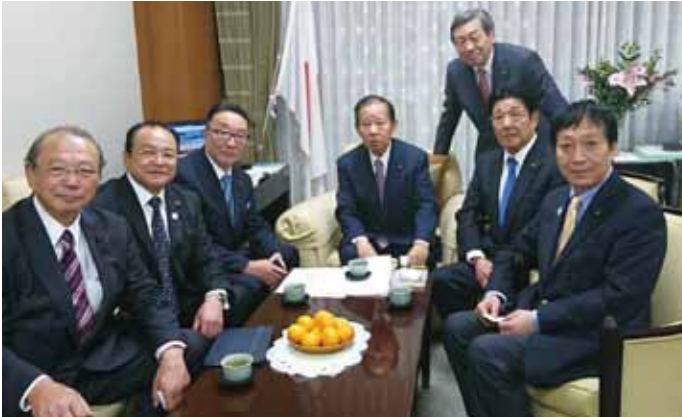
北総鉄道&成田線の利便性向上 更なる運賃値下げへの取り組み

- 北総線の東京駅乗り入れ=都心直結線の具体化へ向けた、国・県・都の協議会設置を推進。
- 北総線の耐震補強及びホームドア事業の推進。
- 運賃値下げに向けた地元沿線6市、県、鉄道事業者との枠組を再構築。
- JR成田線の利便性向上。北総線との交差点への乗換駅設置を要望。



Topics

北千葉道西区間、(H29) 国・県・ネクスコで合意!



自民党北千葉道路議連による有料化提案で、西側区間の事業化へ向け大きく前進。二階俊博幹事長、石井啓一国土交通大臣への国直轄事業化要望が結果を出しました。

北総スキーム再構築を提案 (H28)

滝田議員 北総鉄道の将来の運賃値下げについて鉄道事業者、地元6市、県による協議の場を設けるべきと思うがどうか。総合企画部長 平成27年1月の「北総線の運賃値下げに係る確認書」において、運賃問題に関して、新たな事由が生じた場合には、関係者間で協議を行うとともに、北総線沿線地域活性化協議会を設置し、沿線地域の活性化に取り組むこととしております。

滝田議員 白井・印西の両市長による、これまでの補助金スキームの終了は、結果として、鉄道事業者との交渉を難しくした。ただ、県として都心直結線構想を進めるといふカードを持って、中長期的視点から協議の場を設け、鉄道事業者との交渉で、値下げに向けた連立方程式を組み立てていくことは可能と考える。

私は、住民運動の理屈で、「高いから値下げしろ」という主張はしない。そもそも、この鉄道は成田新幹線として国策により整備されるはずだった鉄道であり、結果的にP線方式の整備となり、受益者負担原則のもと、沿線在住の県民が日本一高い運賃を払い続けている。ここは、政府の成長戦略に基づく都心直結線という大きな物語、プロジェクトの中で、是非とも北総の運賃問題の解決に取り組んで頂くことを要望する。

県への要望 (H29)

都心直結線は、今後、訪日外国人客数の増加が見込まれる中で、成田空港の更なる利便性向上を図り、利用者から「選ばれる成田空港」としての地位を確立するために死活的に重要な路線だ。現在、地元9市町、県、国、NAAによる四者協議会において、第3滑走路整備など、成田空港の機能強化に関する議論・検討が進められているところだが、第3滑走路の整備効果を最大限

発揮させるためには、成田空港から都心へのアクセスを更に向上させる都心直結線構想の実現が千葉県にとつて悲願であると考えている。そのためには、都心直結線構想の実現について、森田知事から、国に対し、強く働きかけていただくよう要望する。これについても、知事の公約が成田と東京都心をつなぐことであつたことを考えれば、3本目の滑走路整

備が前に進むようになっている。本県において最大の課題であると思う。知事を先頭にオール県庁、あるいは千葉県界を巻き込んで、都心直結線構想を進めていただきたい。また、これは国だけではなく、東京都にも味方になつてもらわなければ、先に進む問題ではない。県庁のインテリジェンスを結集する中で、事業、政策を進めていただくことを要望する。